

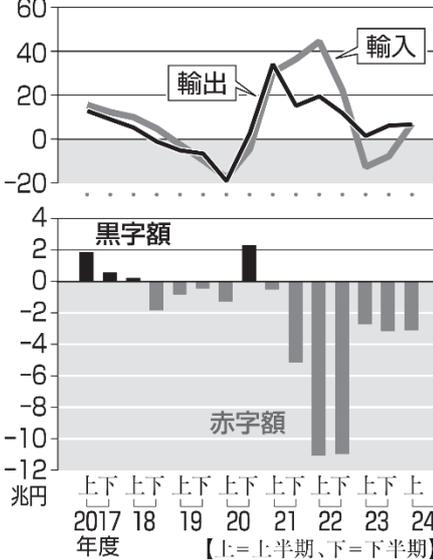
年 月 日/

学校 年 組 番 なまえ

2024年10月18日付

貿易収支と輸出入増減率の推移

(年度半期ベース、24年度上半期は速報値)



輸出は53兆5504億円
で、前年同期と比べ6・6%増加した。円安を追い風に半期ベースで過去最大となった。中国向けの半導体等製造装置や米国向けハイブリッド車が伸びた。輸入は56兆6571億円
で7・0%増加した。米国から業務用パソコンや医薬品の仕入れが目立った。原油や液化天然ガス(LNG)の単価が上昇し輸入額が膨らんだ。鉱物性燃料全体は3・1%増の12兆4636億円だった。

財務省が17日発表した2024年度上半期(4～9月)の貿易統計(速報、通関ベース)は、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支の赤字額が3兆1067億円だった。赤字幅は前年同期から14・4%拡大し、赤字は半期ベースで7期連続となった。円安ドル高などを背景にした慢性的な輸入超過は、資源調達を海外に依存する日本経済の弱さを浮き彫りにしている。

上半期 円安で輸入超過

貿易赤字拡大 3.1兆円

【問1】 貿易赤字の主な原因は？

上半期の為替レートは平均1ドル＝153・15円で、前年同期に比べ13円以上円安だった。

【問2】 2017年度以降赤字額が最大だったのは？

国別の貿易収支は対米国が4兆2984億円の黒字で、前年同期に比べ4・1%縮小した。輸出額、輸入額はともに過去最大だった。対中国はスマートフォンなどの輸入が増えて3兆637億円の赤字となり、赤字額が6・9%拡大した。

【問3】 2024年度上半期の鉱物性燃料の輸入額は、輸入全体の約何%？

同時に発表した9月の貿易収支は2943億円の赤字で、3カ月連続の赤字となった。新型コロナウイルス収束後に伸びていた自動車の輸出が前年同月比で9・2%減少した。

貿易収支 輸出から輸入を差し引いた金額で、輸出が輸入を上回れば貿易黒字、下回れば赤字となる。財務省が毎月公表する。かつては日本の強みである自動車輸出などで貿易黒字を確保していた。2011年3月の東日本大震災後は、停止した原発を代替する火力発電用の燃料輸入がかさみ、赤字の傾向になった。近年も円安ドル高などで輸入額が膨らみ、赤字基調となっている。



よ
読めない文字は、かざくや、ともだちにきいてみてね